

宮崎海岸市民談義所現地見学会

- 1 -



日時: 平成27年2月14日(土)

場所: 宮崎海岸 (宮崎市住吉 動物園東地区)

宮崎海岸の位置

- 2 -



H26年度の埋設護岸工事(1)

- 3 -

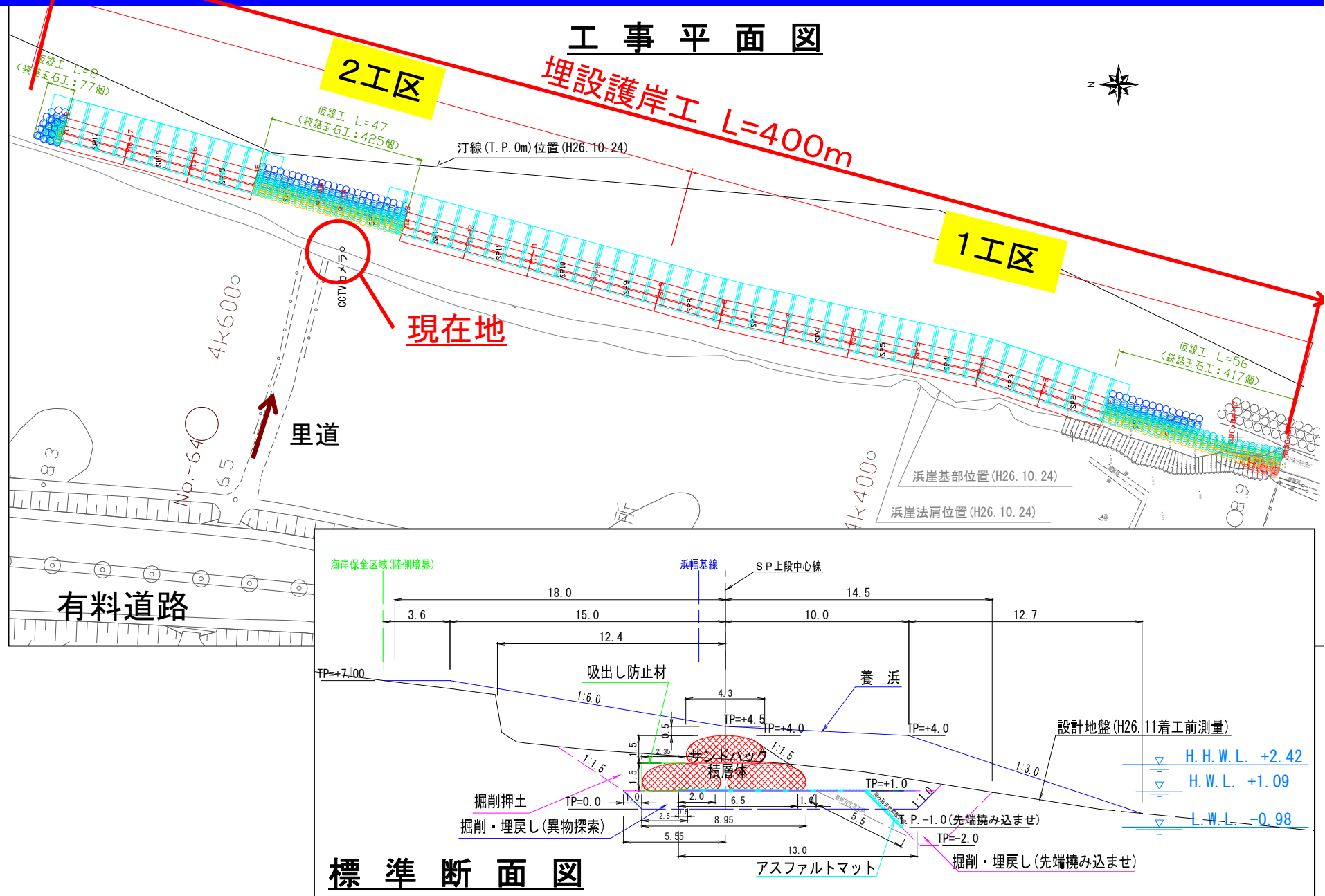
- 工事概要 : 埋設護岸工 L=400m
(内サンドバックL=280m)
※南端接続部と里道アクセス部は仮設
養浜 約2.3万m³
- 施工 : 宮崎海岸埋設護岸等(1工区)工事 : 龍南建設(株)
宮崎海岸埋設護岸等(2工区)工事 : (株)山本組
- 工期 : 平成27年3月まで

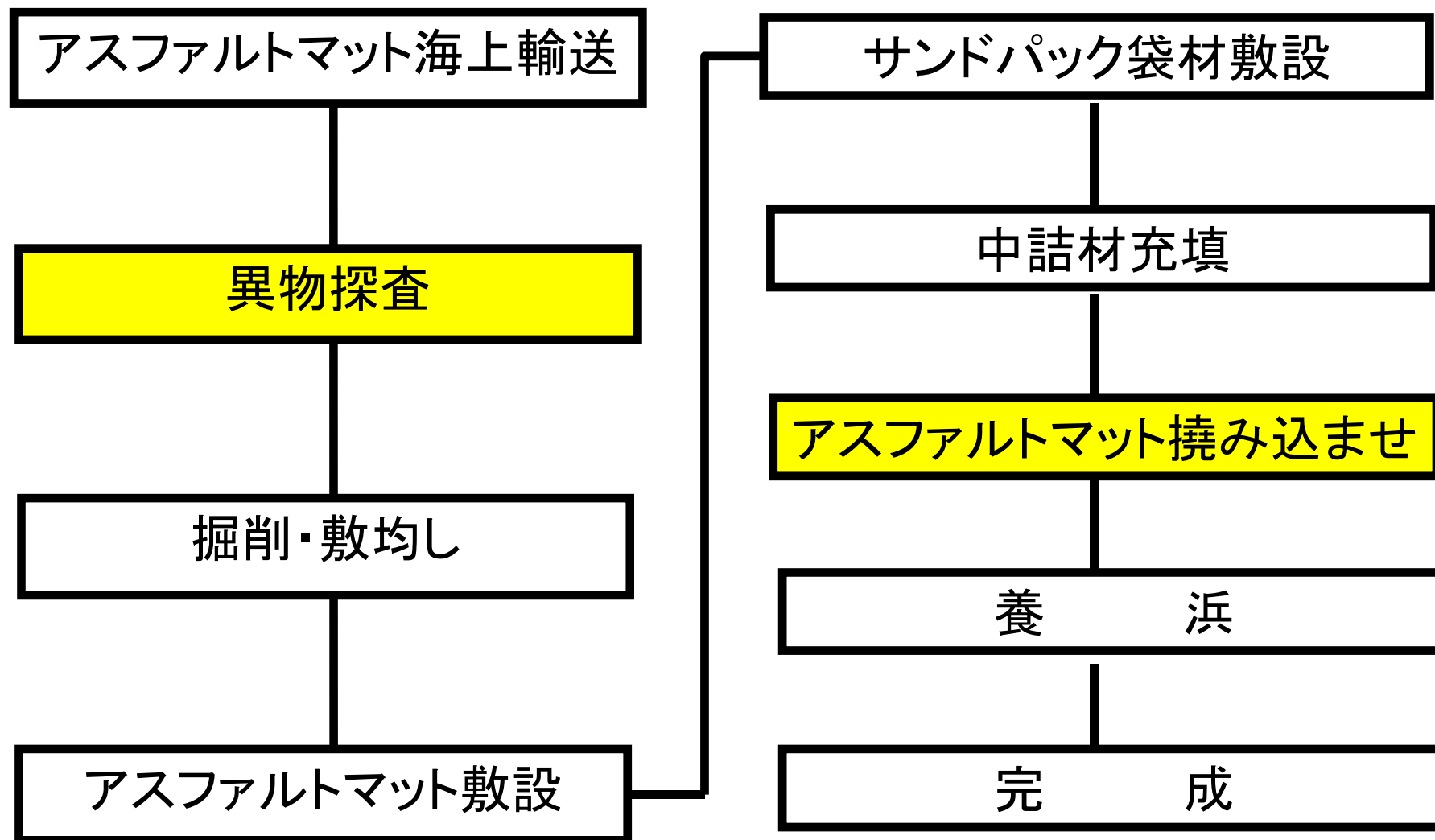
【連携】 ※河川・港湾事業(県)と連携した養浜も実施



H26年度の埋設護岸工事(2)

- 4 -





アスファルトマット海上輸送

- 6 -





住吉海岸(H27)



大炊田海岸(H25)

アスファルトマット敷設

- 9 -



サンドバック袋材敷設

- 10 -



中詰め材充填(取水状況)

- 11 -



中詰め材充填(水槽への砂投入状況)

- 12 -



中詰め材充填(水槽内)

- 13 -



中詰め材充填(充填前)

- 14 -



中詰め材充填(充填状況)

- 15 -



中詰め材充填完了

- 16 -



砂丘

サンドパック

大炊田海岸 (H25)

アスファルトマット撈み込ませ

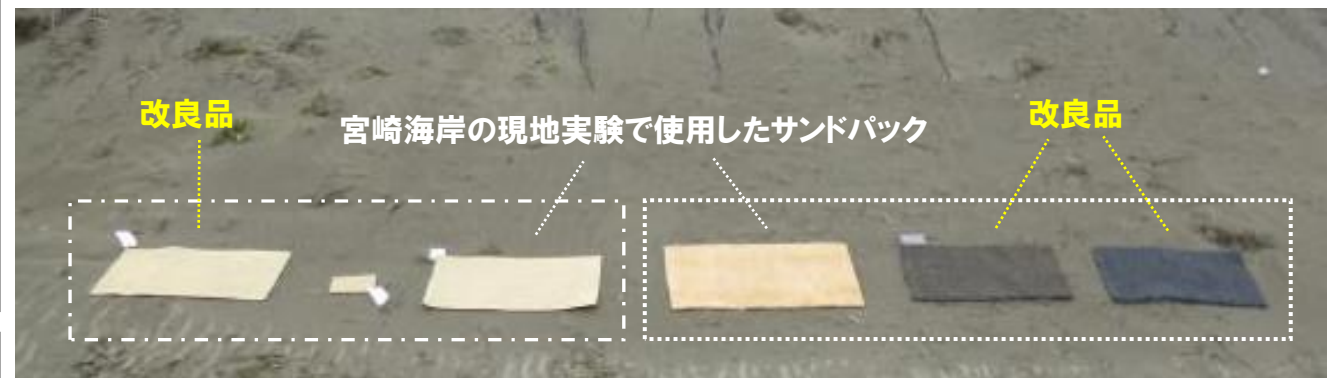
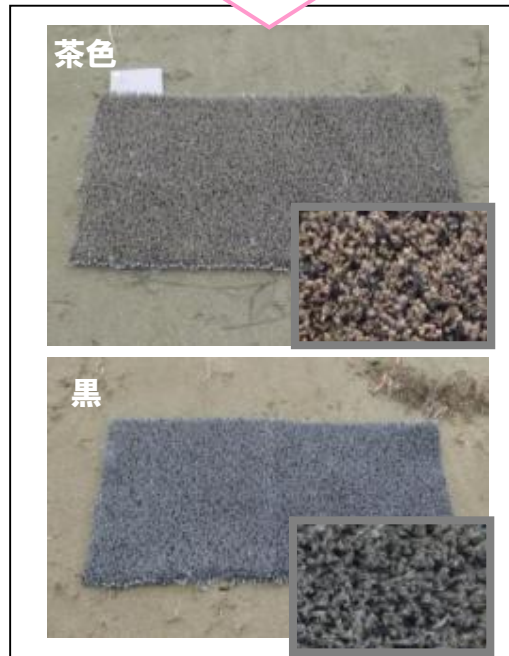
- 17 -







▶ サンドパックの袋材は、現地の砂の色調と整合するよう改良が行われた。



砂がかむと目立たなくなる
(改良品)



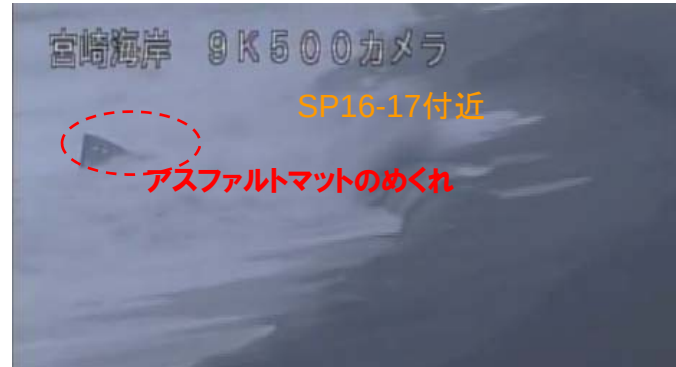
サンドパック袋材の色の改良(上:砂上に置いた写真、下:砂がかんだ写真)

⑤めくれ・波打ちが生じたアスファルトマット a)変状

・アスファルトマットは、北部および南部において、めくれ、波打ち等が発生した。



平成26年10月22日撮影



平成26年10月11日撮影(CCTV)



平成26年8月9日撮影



平成26年10月14日撮影



平成26年10月23日撮影

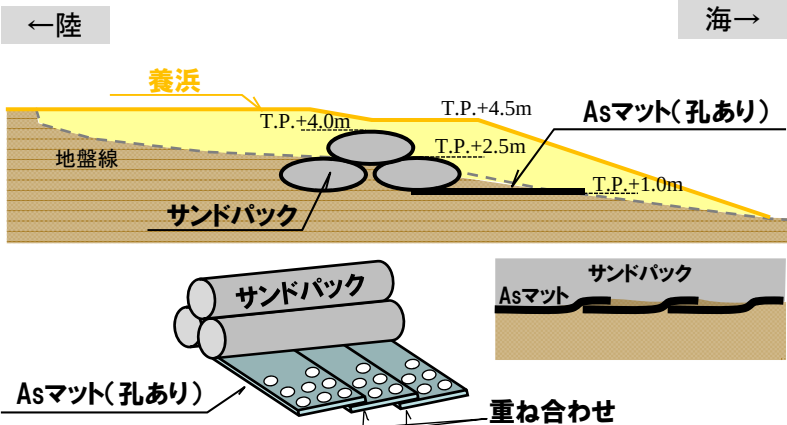
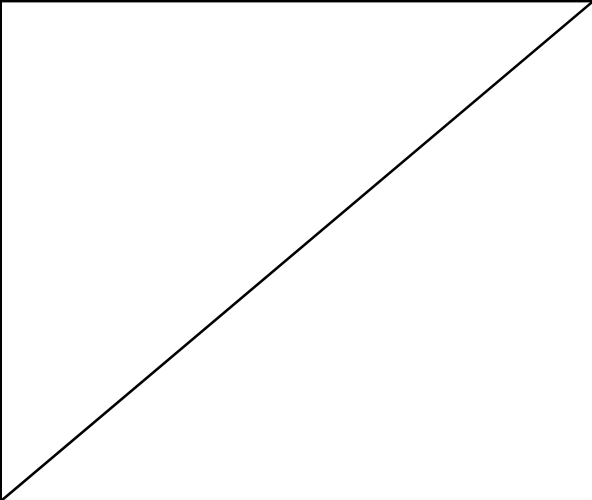
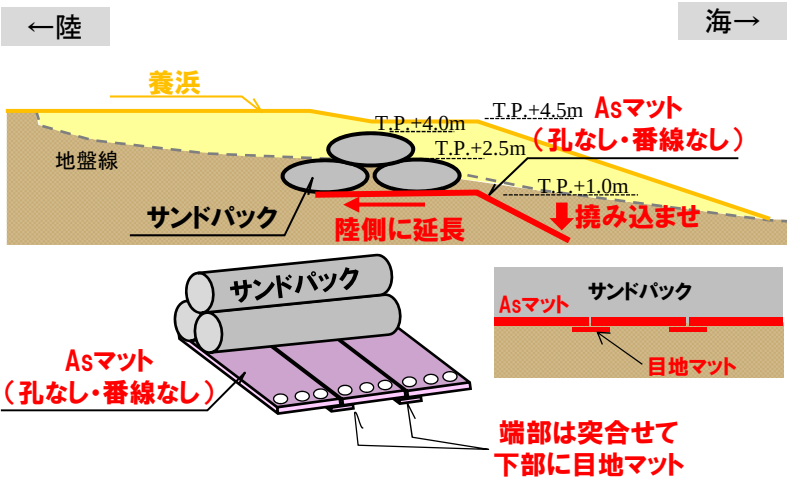


平成26年10月20日撮影



構造のステップアップ

- 22 -

基本構造	ステップアップのポイント	H26台風での状況 も踏まえた確認結果
■ 従来(H25大炊田海岸埋設護岸) 		■ 一部区間で、Asマットのめくれ等が生じた。 ■ 一部箇所で、Asマットの番線飛び出しにより、サンドバックが損傷した。 ■ 一部箇所で、Asマットの沈下及びそれに追従する形でサンドバックの沈下・変状が生じた。
■ H26ステップアップ案 	■ Asマットめくれ防止のため、Asマットの先端を掘り込ませる。 ■ Asマットの孔からAsマット下の土砂が過剰に流出して沈下している可能性があるため、孔なしとする。 ■ サンドバック下からの吸出しが生じている可能性があるため、下段陸側サンドバックまでAsマットを踏み込ませる。 ■ 斜めに入射する波に対するめくれ防止と重ね合わせの隙間からの波のつっこみを防止するために、マットを重ねずに突合せる。 ■ サンドバックへの損傷防止のため、構成材料に番線を使用しない。	■ Asマットめくれ防止については、既設Asマットの先端を掘り込ませることで、めくれ防止効果が期待できることを確認した。 ■ 既設Asマットにより、侵食（洗掘等による地盤低下）のサンドバックへの波及低減効果を確認した。 ■ 波向に対応するようにめくれが生じていたことを確認した。

サンドバックの効果（未整備区間【住吉海岸】）

- 23 -



平成26年10月11日
（台風19号通過前）

高波浪の影響による
砂丘の侵食！



平成26年10月13日
（台風19号通過後）

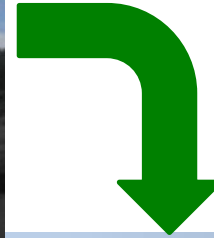
サンドバックの効果（整備区間【大炊田海岸】）

- 24 -



平成26年10月6日
（台風19号通過前）

高波浪から
砂丘の侵食を防ぐ！



平成26年10月14日
（台風19号通過後）